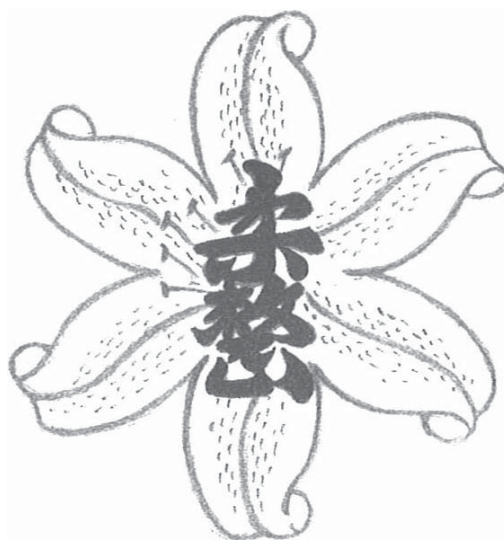


第40回 神奈川県柔道整復 学術大会



日時 平成30年9月30日(日)
会場 神奈川県柔道整復師会館

主催 公益社団法人神奈川県柔道整復師会
後援 公益社団法人日本柔道整復師会
一般社団法人日本柔道整復接骨医学会
神 奈 川 新 聞 社

目 次

ご 挨 拶 公益社団法人神奈川県柔道整復師会会長 牧野 吉一 . . .

開催にあたって 公益社団法人神奈川県柔道整復師会学術部長 原 壯嘉 . . .

プログラム

第40回神奈川県柔道整復師学術大会実行委員

【特 別 講 演】

『野球肩・肘の診断と治療 ～日本野球の現状と未来～』

医療法人社団 こうかん会 日本鋼管病院

スポーツ整形外科・リハビリテーション科部長

都賀 誠二 先生 . . .

【学術交流発表】

『超音波画像観察装置における fat pad sign の評価』

公益社団法人東京都柔道整復師会 林 雄祐 会員 . . .

【会 員 発 表】

① 「続報 仙腸関節障害の検査と股関節屈曲整復法」

～診断のつかない腰臀下肢慢性痛の治療経験から～

横浜中支部 松為 信夫 . . .

② 「アキュースコープと運動療法を用いた腓骨神経麻痺を伴う足関節の治療」

小田原支部 田代 昌孝 . . .

③ 「2018FIFA ワールドカップロシア 日本代表チームにおけるメディカルサポート」

相 模支部 久保田 武治 . . .

編集後記

【出 展 会 社】

協賛企業配置図

協 賛 各 社



ご 挨拶

公益社団法人神奈川県柔道整復師会
会 長 牧 野 吉 一

記録的な猛暑で終わった平成最後の夏もいろいろな爪跡を各地に残し、自然災害の猛威に翻弄される現代社会の脆弱性を改めて実感するところです。被災された方には心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復興を願っております。

私達、柔道整復師は患者様の回復を助ける為に全力を尽くす事を主眼として日々努力をしております。私達の手技は各々独自のものを作り上げておられる先生もいらっしゃいますが、中には自分の技術の壁にぶつかっている先生も多数いる事と思います。ただこの壁も乗り越える事により新たな技術を習得し患者様の信頼を得る事が出来るものと思います。

過去には我が業界では独自の技術はその一門で門外不出と言われておりましたが、神奈川県柔道整復学術大会においてはその技術を惜しみなく発表され会員相互の技術向上に大きく寄与している事と思います。

本会公益事業として大きな役割を果たしております第40回神奈川県柔道整復学術大会を開催するにあたり、前述したとおり、現在、時代の推移に伴う社会環境の大きな変化及び増加傾向の顕著な自然災害に医療従事者の一員として、その双方の必然的結果に対応する柔道整復学を早急に構築すべき時代が到来していると考えています。

今大会では、特別講演として 医療法人社団 こうかん会 日本鋼管病院スポーツ整形外・リハビリテーション科部長 都賀 誠二 先生をお迎えし「野球肩・肘の診断と治療 ～日本野球の現状と未来～」と題した特別講演が行われます。

また、会員による日常の施術臨床経験に基づく学理研究発表も行われますので今大会を契機に、社会の要求に即応することを第一義とした柔道整復学学理の研究がより一層進展するためにあらゆる努力を目指す所存でございます。

最後に、本大会開催にご尽力いただいた関係各位並びに会員各位に心から感謝申し上げます。今後とも、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。



開催にあたって

公益社団法人神奈川県柔道整復師会
学術部長 原 壯 嘉

第40回神奈川県柔道整復学術大会を開催にあたりご挨拶申し上げます。

昨年度に学術部長に就任し今回で二回目の学術大会となりましたがまだまだ不慣れなこともあり大会進行等につきまして会員皆様にご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、多くの会員皆様の御協力により学術大会を開催する運びとなりましたことにこの紙面をお借りして御礼申し上げます。

今年度は特別講演に日頃より大変お世話になっております日本鋼管病院スポーツ整形外科・リハビリテーション科部長の都賀誠二先生に演題「野球肩・肘の診断と治療 ～日本野球の現状と未来～」をご講演いただきます。

都賀誠二先生は、2014年日米野球侍 Japan・2018年WBC侍 Japanのチームドクターを務められ多くのプロ野球選手の肩・肘の治療経験をお持ちです。今回の特別講演ではその時のエピソード等お話しいただける事と思います。その経験をプロ野球にとどまらず地域の少年野球においても審判を務められ、定期的にメディカルサポートとしてリトルリーグエルボーの早期発見などの啓蒙活動を精力的にされてきております。また我々柔道整復師との医接連携にも大変ご配慮いただき柔道整復師には欠かせない存在となっております。

公益社団法人東京都柔道整復師会の学術交換交流につきましては、日々の業務で大変お忙しい中にも拘わらず発表していただく事に心より感謝申し上げます。

会員発表は今年度3題と昨年より減少しておりますが内容的にはどれも大変素晴らしい内容となっております。これも日常の業務で大変お忙しい中、研鑽を重ね発表していただける労力に敬意を払い御礼申し上げます。

また、今回は15社による出展展示が行われます。展示業者の募集や出展ブースの確保に協同組合の御協力を頂きましたことも合わせて御礼申し上げます。

最後にこの学術大会が成功裏に終了いたします事に関係各位に感謝申し上げます挨拶といたします。

◇ プ ロ グ ラ ム ◇

日 時 平成 30 年 9 月 30 日 (日) 午前 10 時

場 所 (公社) 神奈川県柔道整復師会会館

午前 9 時 ～ 開 場 医療機器・衛生材料・保険電算処理器展示

午前 10 時 ～	開会式	司 会	大 貫 智 之
	開会の辞	大会副会長	小 舘 智 治
	大会会長挨拶	大会会長	牧 野 吉 一
	実行委員長挨拶	大会実行委員長	原 壯 嘉
	発表規定	座長団長	柴 田 大 輔

午前 10 時 30 分 ～ 《 特 別 講 演 》

演題：「野球肩・肘の診断と治療 ～日本野球の現状と未来～」

医療法人社団 こうかん会 日本鋼管病院

スポーツ整形外科・リハビリテーション科部長 都賀 誠二 先生

午後 12 時 00 分 ～ 謝 辞 大会会長 牧 野 吉 一

午後 12 時 05 分 ～ 昼 食 (展 示)

午後 1 時 00 分 ～ 《 学 術 交 流 》

「超音波画像観察装置における fat pad sign の評価」

公益社団法人東京都柔道整復師会 林 雄 祐 会員

午後 1 時 20 分 ～ 《 会 員 発 表 》

① 「続報 仙腸関節障害の検査と股関節屈曲整復法」

～診断のつかない腰臀下肢慢性痛の治療経験から～

横浜中支部 松 爲 信 夫

② 「アキュースコープと運動療法を用いた腓骨神経麻痺を伴う足関節の治療」

小田原支部 田 代 昌 孝

③ 「2018FIFA ワールドカップロシア 日本代表チームにおけるメディカルサポート」

相 模支部 久保田 武 治

午後 2 時 00 分 ～ 閉 会 式

総 評
表 彰
閉 会 の 辞

大会実行委員長	原 壯 嘉
大会会長	牧 野 吉 一
大会副会長	齋 藤 武 久

第40回 神奈川県柔道整復学術大会実行委員

大会会長	牧野吉一		
大会副会長	小舘智治	齋藤武久	
大会実行委員長	原 壯 嘉		
大会委員	曾我昌企 村山 正	梅本彰吾 田澤裕二	荻谷満郎
座長団長	柴田大輔		
座長	石川公道 水川竜秀 伊東典祐 田代昌孝	倉本和男 笠原秀造 吉田 理	荒川英輔 山口秀紀 渡部真弘
司会	大貫智之		
大会総務	田代優樹	山崎慎也	
進行	大貫智之	柴田大輔	
会場	石川公道 水川竜秀 伊東典祐 田代昌孝	倉本和男 笠原秀造 吉田 理	荒川英輔 佐藤和義 渡部真弘
映像	山崎陽介		
経理	山口善弘		
記録	内田達也		

野球肩・肘の診断と治療

—日本野球の現状と未来—



日本鋼管病院スポーツ整形外科

都賀誠二

高校野球は第100回を数え今年の夏もニューヒーローが誕生し、大変盛り上がりました。また、メジャーリーグでは大谷翔平が二刀流で活躍し、日本野球のレベルの高さを証明してくれております。(講演日までに肘内側側副靱帯再建術、いわゆるトミー・ジョン手術を受けていないことを願います。)しかしながら、少子化以上に学童の野球離れが顕著になっています。チームの合併、廃部が深刻化し、特に地方では試合を組むのも大変になっているようです。このような現状を2017 WBC、2018 U15侍ジャパンチームドクター、神奈川県高校野球大会ドクター、宮本慎也杯学童野球大会ベースボールメディカルドクターの経験を踏まえ、将来の日本野球のあるべき姿を考えたいと思います。また、病院での野球選手の診療から野球肩・肘の診断と治療法を紹介したいと思います。



超音波画像観察装置における fat pad sign の評価

林 雄祐（公益社団法人東京都柔道整復師会）

【keyword】 fat pad sign 超音波画像観察装置
〈はじめに〉

肘周辺の外傷において posterior fat pad sign が描出された場合は、関節内骨折の可能性が高い。また、西島は (displaced) fat pad sign 陽性で転位軽微な骨折を検討した結果、圧痛点が外側にあれば上腕骨外顆骨折か橈骨頸部骨折、内側にあれば尺骨近位部骨折が多いと報告している。当然転位軽度の上腕骨顆上骨折でも描出される。fat pad sign の存在は、特に小児において、見逃されやすいとされている転位軽度の肘周辺部の骨折の発見に繋がる。



(図 1)

fat pad sign : 骨折にて転位があっても微少で単純 X 線写真上骨折が読影できない場合でも、骨折による血腫により骨折部周辺の脂肪組織が圧排され

小児骨折

持ち上げられた像を呈す異常陰影像で、特に小児肘関節周辺骨折診断の一助となる。(図 1)

〈方法・症例〉

肘に外傷が生じた 3 症例に対し肘関節 90° 屈曲位にて、肘頭窩を描出し同部位の posterior fat pad sign を評価した。(図 2)

超音波画像観察装置は本多電子株式会社製 HS-2200 を使用した。症例の詳細は上腕骨顆上骨折が 2 症例、橈骨頸部骨折が 1 症例で全症例にて X 線写真上、骨折線並びに fat pad sign の発見が比較的困難であった。



(図 2)

〈結果〉

全症例にて超音波画像観察装置にて posterior fat pad sign を描出された。(図 3)

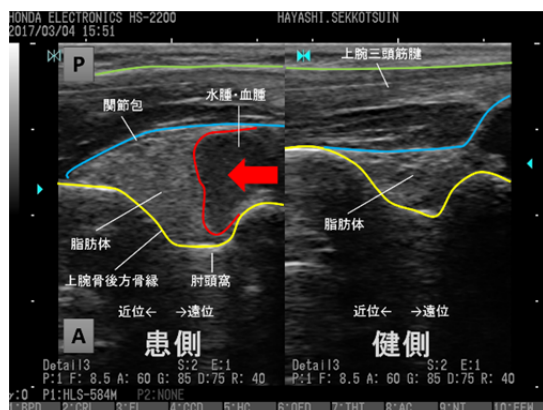
前述したように posterior fat pad sign

の描出は関節内骨折を示唆している。これに圧痛点等を中心とした臨床所見を照らし合わせることで、各骨折の早期発見が可能となり、応急処置を行うことが出来た。

3) 槇殿文香理ら：日本小児放射線学会誌，小児骨折の勘どころ：四肢の骨折を中心として，38～44,2012

4) 皆川洋至著：超音波でわかる運動器疾患,137～138,2010

5) 報告同意医師：周豪奎



(図 3)

〈考察〉

今回の3症例では、比較的レントゲン画像で確認することが難しかった posterior fat pad sign を超音波画像観察装置で発見することが出来た。それにより転位軽度な骨折の早期発見に繋がった。特に小児の転位軽度な関節内骨折はレントゲン画像で発見することが難しいことが多く、超音波画像観察装置を用い posterior fat pad sign を確認することで早期発見の一助になり、見逃しを防ぐことが可能と考えられた。

文献：

- 1) 古江ら著：整形外科と災害外科,55:(3)368～371,2006
- 2) 福田国彦著：骨折の画像診断,株式会社羊土社，東京,87～90,2009



続報 仙腸関節障害の検査と股関節屈曲整復法

診断のつかない腰臀下肢慢性痛の治療経験から

松爲 信夫（横浜中支部）

監修 横浜鶴ヶ峰病院整形外科 亀田病院整形外科 浜田洋志

【Keyword】慢性腰痛 仙腸関節 骨盤

＜はじめに＞

腰臀下肢慢性痛には、診断困難な症例や診断がつき治療は受けたものの治癒感がない症例を経験した。

腰痛で来院する患者の中には、腰椎病変ではない症例があると考えた。動作や姿勢によって発痛部位、訴え方がさまざまであるが、常時痛ではなく、鋭い痛みでもない動作次第で変化する慢性症状を訴える症例を少なからず経験した。

腰臀部、下肢での動作による痛みと静止時持続痛を発する筋は腸骨関連の筋であることから仙腸関節障害の可能性があるととして、検査法と整復法を2016年に報告した。

＜目的＞

今回新たな仙腸関節障害の検査法と新たに患者の腹筋力と術者の介助による小道具を活用した簡便な股関節屈曲整復法を考案し、また、なぜ慢性痛化してしまったのか原因の一部を問診から考察した。

＜方法＞

1. 腰臀下肢慢性痛の問診

腰への受傷自覚はなく腰臀部、下肢への痛みを感じてきた症例がある。

問診をよくすると、足関節の捻挫で、躓くことが多い、転んで膝を強打した経験があるなど下肢、足部への損傷が軽かったことで記憶に残っていない症例がある。

これらの症状は身体の動きによって痛みの程度、部位が異なる慢性症状を呈しているが左右どちらか片側である。



写真1 骨盤内面 CT 画像 患側は左。仙腸関節の正面図では異常は認識できないが、恥骨結合に左側の僅かな上方移動がある。（浜田洋志）



写真2 左 45 度からは左仙腸関節の僅かな隙間が見える。（浜田洋志）



写真3 右 45 度からは右仙腸関節の隙間は見えな
い。（浜田洋志）

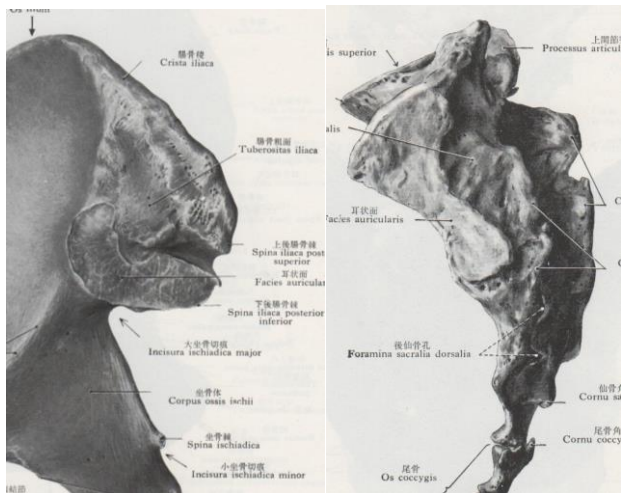


写真4 腸骨耳状面

写真5 仙骨耳状面

腸骨窩の後方の骨面は甚だ粗糙（質が荒く、手触りがざらざらしていること。広辞苑）で、その下方に偏した部に耳状の関節面があって耳状面と言い、仙骨の耳状面と接合する（仙腸関節）。

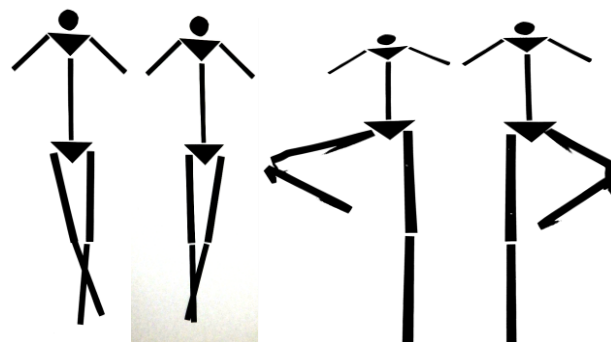
大腿部は軽い痛みとともに痺れを訴えることもある。運動痛はその瞬間に発痛する。静止時痛は椅子による座位姿勢での臀部から下肢への軽い痛みを短時間で発し持続的となる。立ち上がる瞬間に強い痛みになり、立ってしまうと痛みは消え、歩行時の痛みはない。

以上により痛みの発痛筋は腸骨に起始部を持ち、当該筋を働かせる関節の障害により筋に過剰な負担がかかって発する痛みと捉え、当該筋に作用する仙腸関節障害に起因する可能性があると考えた。

2. 仙腸関節障害の検査

仙腸関節の動き方と角度の違いを直接見ることは困難であることから、背臥位による大腿部の屈曲・内転・外転運動域を股関節を介して滑らかな動きと角度の左右差を見ることとした。

運動域検査での患側は①膝関節伸展位で大腿の内転時、重く感じる。②膝関節軽度屈曲位で外側に倒す股関節屈曲外転の滑らかな開き方を見る。開く角度が少なく滑らかに



左から図1, 2, 3, 4 図2, 4は患側。背臥位での股関節の可動域検査。図1は健側の内転、図2の患側内転は不充分。図3は健側の股関節屈曲外転。図4の患側は外転不充分。



図5 健側の股関節自力最大屈曲

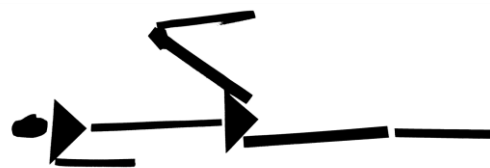


図6 患側左の股関節自力最大屈曲は不充分

開かない。稀に真横に倒れ、開き過ぎを経験する。この場合、対側の開き方に不快感を訴える。多くないが遭遇する。③膝関節屈曲位で股関節の最大屈曲時に胸に近づく膝の位置で比較する。患側は屈曲不充分で重く感じる。背臥位での触診所見は大腿直筋を主とする大腿部の筋の圧痛。

とくに横方向の押圧にはゴムホースを横にしごく感じを受ける。

3. 股関節屈曲整復法

前回、仙腸関節障害の整復には上前腸骨棘押圧には徒手による体力が必要であった。

今回は小道具と患者との呼吸合わせが技術的ポイントでその場で練習するだけで成功する。患者を背臥位に寝かせ、上前腸骨棘直下に小道具を挟み患側股関節を十分に屈曲

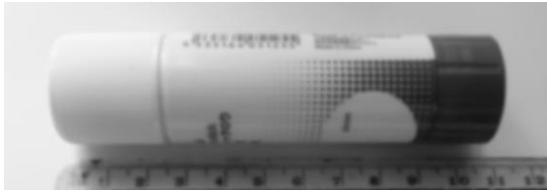


写真 6 股関節屈曲整復法に使用する小道具の円柱ケース。患側上前腸骨棘直下に「スティックのり」を屈曲した大腿部で挟み、整復動作時に軽く圧力を加えると腸骨に力が伝わり整復される。

し、術者は十分に屈曲した膝部を支え、患者は自力で大腿を体幹に極力ひきつけ、同時に腹筋を最大に使い上半身、特に額を膝に近づけ十分に力が集中したところで一気に脱力させるその瞬間に術者は膝に軽く体重を乗せると整復される。

あらかじめ整復の要領を訓練してから行うとスムーズに成功する。

<結果>

1. 股関節の運動域 3 種の検査により、仙腸関節障害における診断の一部を容易にした。

2. 整復後、①内転は軽快に出来。②開き方は大きく滑らかになる。③股関節は軽快に屈曲し、健側に並ぶ。大腿の運動域に左右差が無くなると腰殿下肢部の痛みをはじめ痺れ感が消えたことで仙腸関節障害由来の慢性痛は改善の方向に向かった。

<考察>

仙腸関節整復により、腸骨関連筋の起始、停止部が元に戻り、筋力の低下と運動域が改善したものと考えた。

不意の外力が及ぼす影響は「だるま落としの玩具」に例えることが出来る。半関節、耳状面の仙腸関節は体幹を支える強力な反面、脱力時には保持力は弱まり軽度な圧力に屈し障害を生じたと考えた。

<結語>

骨盤の外周は立位、座位、背臥位の順で小さくなり変動する。本障害は不意の外力によって生じたわずかな変動による障害ではあるが、この整復法はその変動の逆利用ともい

うべき一瞬の脱力状態によって関節面の復元力によって障害が改善されたと推察した。

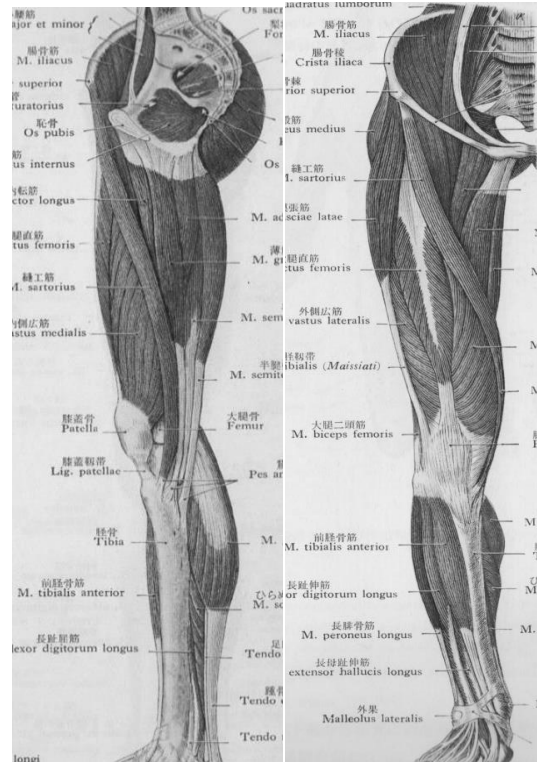


写真 7 縫工筋。起始部の上前腸骨棘から停止部の脛骨上内側部へ斜めに走行し大腿を曲げ、回転する最長の筋。痛みの発症部位は起始部・停止部に表れ圧痛もある。大腿直筋の自発痛はないが、圧痛は認める。痛いと訴える部位は大腿最上部の外側、中殿筋、大腿筋膜張筋でいずれも上前腸骨棘に起始部を持つ筋である。痛みを訴える

<参考文献>

- 1) 標準整形外科学 監修 寺山和雄 広畑和志 医学書院 1996 年 6 版
- 2) 第 38 回 神奈川県柔道整復学術大会 仙腸関節障害の診察診断法と整復法 松為信夫 2016
- 3) 日本人体解剖学 金子丑之助著 南山堂 1977
- 写真 4, 5, 7
- 4) 目で見える局所解剖学 嶋井和世・坪井実監訳 廣川書店 1979、
- 5) 運動器慢性痛診療の手引き 編集 日本整形外科学会 運動器疼痛対策委員会 南江堂 2013

アキュスコープと運動療法を用いた腓骨神経麻痺を伴う



足関節捻挫の治療

田代 昌孝（小田原支部）

【keyword】 腓骨神経麻痺 アキュスコープ 運動療法

〈はじめに〉

国民の健康に対する意識が高まるも健康への考え方の多様化に伴い全国的に見ても接骨院、整骨院を選び足を運んでいただく患者数が減る中、我が業界を選んでいただく為に結果をだす治療は急務である。

そんな中、腓骨神経麻痺を伴う足関節捻挫のアキュスコープを用いた治療において、約3か月と診断された症例が、一例ではあるが、良好な結果が出たので報告する。

〈アキュスコープ（微弱電流治療器）とは〉

微弱電流とはミリアンペア（mA）の1/1000の電流をマイクロアンペア（ μ A）と言う。

ヒトをはじめ、生体を通る電流は一般的に微弱電流域であることが判っている。

微弱電流治療とは、低い電圧の微弱電流刺激を生体に送る治療法である。

〈症例〉

患者：29歳 男性

負傷原因：バスケットの試合中、相手選手と纏れ合いながら転倒し受傷。

7月12日受傷

7月13日入院：左足関節他動運動痛著明（自動運動は疼痛が強いために不可）、足関節背

屈不可、左足趾屈伸不可、下垂足、鶏歩、軽度皮膚感覚の異常

職場近くの整形外科を受診し、腓骨神経麻痺及び、左足関節捻挫と診断され、全治3か月と言われる。

7月14日 整形外科より処方されたメコバミンを服用しながら、アキュスコープ・マイオパルスにて治療開始。

〈治療経過〉

（参考写真は患者ではなく、モデル撮影です。）

初診～2日：骨損傷がないものの疼痛が強いため、安静位にて通電。

その際、アキュスコープにて粘着パッドを用い、マイナス端子を感覚異常が一番強く出現していた左第一趾内側に、プラス端子を左腓骨頭に配置し、周波数0.5Hz、強度100にて通電。

同時に、マイオパルスにて前距腓靱帯と、足関節内側に粘着端子を貼り付け周波数60Hz、強度100にて足関節捻挫の治療も行う。



■3日～5日

〈マイオパルス〉周波数 60Hz、強度 100 にて足関節の可動域訓練、疼痛のコントロールのため貼り付け端子を足関節に付けたままリハビリボールを使い、いろいろな方向、足部の色々な面を使いながらの通電。



〈アキュスコープ〉周波数 0.5Hz、強度 100 にて上記と同じ部位に貼り付け端子にて通電。

5日後 左足関節背屈 45° までになったがスリッパなどのサンダル類を履く際には引きずるように歩行しないと脱げてしまう状態。

■6日～9日

〈マイオパルス〉周波数 0.5Hz、強度 400 貼り付け端子を前距腓靭帯（－）、内側足関節に（＋）セラバンドを使い足関節背屈運動。

〈アキュスコープ〉

周波数 0.5Hz、強度 200 貼り付け端子にて腓骨頭（－）、左足第1趾内側（＋）皮膚感覚も少しずつ戻ってくるが少し違和感が残る。足趾の屈曲伸展も少しずつできるようになる。



■10日～15日

〈マイオパルス〉周波数 0.5Hz、強度 400 貼り付け端子を前距腓靭帯（－）、足関節内側（＋）セラバンドにて足関節背屈運動、足関節外返し運動。

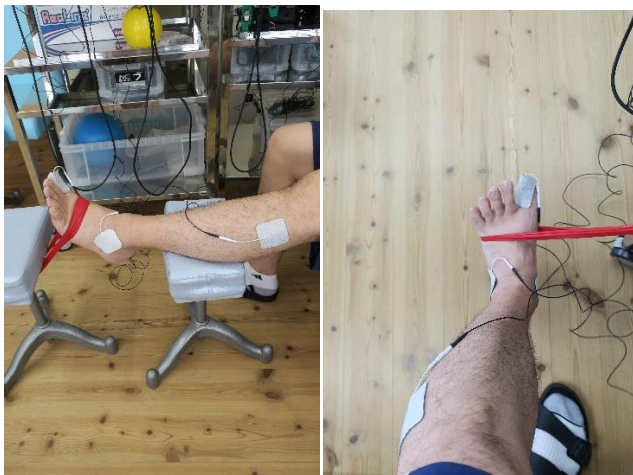


15日後 左足関節背屈 90° までに回復。スリッパなどが脱げずに履けるようになるが、底屈の負荷をかけると簡単に負荷に負けてしまう状態。

■15 日～20 日

〈マイオパルス〉前記の通電と同じ、運動は背屈運動、外返し運動にバランスデスクにおいて患側での片足立ち運動を加える。

〈アキュスコープ〉前記に同じ。



20 日後 足関節 100° 足趾の屈曲伸展も力強く出来るようになり、足関節の背屈力も完全ではないがほぼ戻る。

■20 日～30 日

〈マイパルス〉立位から患側を前方に踏み出し最大背屈状態にて前方から Y プローブにて周波数 0.5Hz、強度 600 にて通電。



〈アキュスコープ〉マイオパルス通電後、トリガーにてマイナスを腓骨頭、プラスを第 1 趾にて、周波数 0.5Hz、強度 600 にて 16 秒 3 回、Auto にて 16 秒 3 回。

30 日後 足関節背屈、足趾屈曲伸展も回復。第 1 趾足先にわずかに違和感が残存しているが、本人はそれほど気にしていない様子。

〈まとめ〉

今回は一例しかなく、確かな結果とは言えないものの、患者さんとうまく意思疎通がとれたのも良い結果につながったものと思われる。

参考文献

山田幸一：微弱電流治療の実際【痛みの通電学と生体調整法】、中部日本教育文化会

2018FIFA ワールドカップロシア

日本代表チームにおけるメディカルサポート

久保田 武晴(相模支部)



【keyword】 ロシアワールドカップ メディカルサポート トレーナー活動

2018 ロシアワールドカップ日本代表チームにおけるメディカルサポート体勢と、世界大会における柔道整復師の役割の重要性について報告する。

2018 ロシアワールドカップ日本代表チームにおけるメディカルサポート体勢はドクター2名、トレーナー4名の体勢で行った。資格の内訳は整形外科ドクター1名、内科ドクター1名、鍼灸あん摩マッサージ師3名、柔道整復師と鍼灸あん摩マッサージ師重複が1名であった。トレーナーは4名全員が日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーであった。

ドクター、トレーナー、フィジカルコーチの連携のもと、コンディションチェックのための指標を複数使い体調管理を行った結果、非常に良好なコンディションで本大会を迎えることができた。

またチーム集合時から怪我を抱えた選手が複数名おり、トレーナーの治療をはじめとするメディカルサポートが本大会での選手選考に重要な役割を果たすことが出来たと考える。

特に打撲、捻挫、筋挫傷の急性外傷の治療における柔道整復師が果たす役割は大きかったと思われる。

編集後記

平成最後の夏が、自然の猛威に翻弄されています。

各地で多くの犠牲が発生しました。被災に見舞われた方のお見舞いと、亡くなられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。

猛暑やゲリラ豪雨ばかりでなく、台風、地震による脅威に対するリスク管理の未整備部分が、被災状況をより一層、深刻なものにしています。

本会においても、災害が発生時の危機管理体制の構築を従前より粛々と進め、緊急事態における救援救護の派遣等について、県、市と援助協定を締結し、いざ、というときの活動指針を定めています。柔整師の緊急対応能力の向上は、日々の施術の研鑽と、その基礎となる学術のさらなる習得が、必要不可欠で有ることは言うまでもありません。

さて、今年度も来賓の皆様、会員各位、大会関係者のご理解ご協力のもとに無事ここに第40回神奈川県柔道整復学術大会を開催される運びとなりました。

今年度の特別公演は日本鋼管病院 リハビリテーション科部長の都賀誠二先生による「野球肩・肘の診断と治療」と題して日本野球の現状と未来について興味深いご講演いただきました。都賀先生におかれましては大変ご多忙中、講演依頼を快諾賜りまして、誠にありがとうございます。

会員からは4編の論文発表がありました。(公社)東京都柔道整復師会 林祐介会員、本会からは、横浜中支部 松爲信夫会員・相模支部 久保田武晴会員・小田原支部 田代昌孝会員には心より御礼申し上げます。

論文の掲載につきましては学術部にて原稿の査読を行い、発表者の論文を原稿通り忠実に掲載いたしましたつもりではございますが、誤字、脱字の点につきましては、何卒ご容赦ご勘弁くださいますようお願い申し上げます。

最後に皆様のご理解ご協力を賜り誠にありがとうございました。この大会が成功裡に終わり、明日からの施術の研鑽に繋がることを学術部一同心よりお祈り申し上げます。学術大会は会員各位のご理解、ご協力のもと運営されております。今後とも、一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます編集後記とさせていただきます。

学術部員 大貫智之

発 行 所	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜 3-23-11 公益社団法人神奈川県柔道整復師会 T E L 0 4 5 (4 7 3) 0 7 3 5 F A X 0 4 5 (4 7 4) 0 6 2 8
発 行 人	会 長 牧 野 吉 一
編集責任者	学術部長 原 壯 嘉
印 刷 所	〒 232-0061 横浜市南区大岡 3 - 4 - 8 有限会社 吉 岡 印 刷 T E L 0 4 5 (7 4 1) 3 4 5 2 F A X 0 4 5 (7 1 2) 6 8 2 3

協賛企業配置図

展示・出展

- | | |
|------------------------|--------------------|
| ① 株式会社日本メディックス | ⑨ イワタニ首都圏株式会社 |
| ② 東京医研株式会社 | ⑩ 株式会社エフ・エス・シー |
| ③ ミナト医科学株式会社 | ⑪ 株式会社O・Aシステムシャープ |
| ④ 株式会社ハヤシ・ニット ビビエルボ事業部 | ⑫ 株式会社TOSCOM |
| ⑤ 株式会社ジーオーエヌ | ⑬ 株式会社エス・エス・ビー |
| ⑥ 株式会社グレイスホテル | ⑭ 日本システムクリエイイト株式会社 |
| ⑦ 株式会社HELIO JAPAN | ⑮ ミズノ株式会社 |
| ⑧ 日本メディカルアンチエイジング協会 | |

1 F

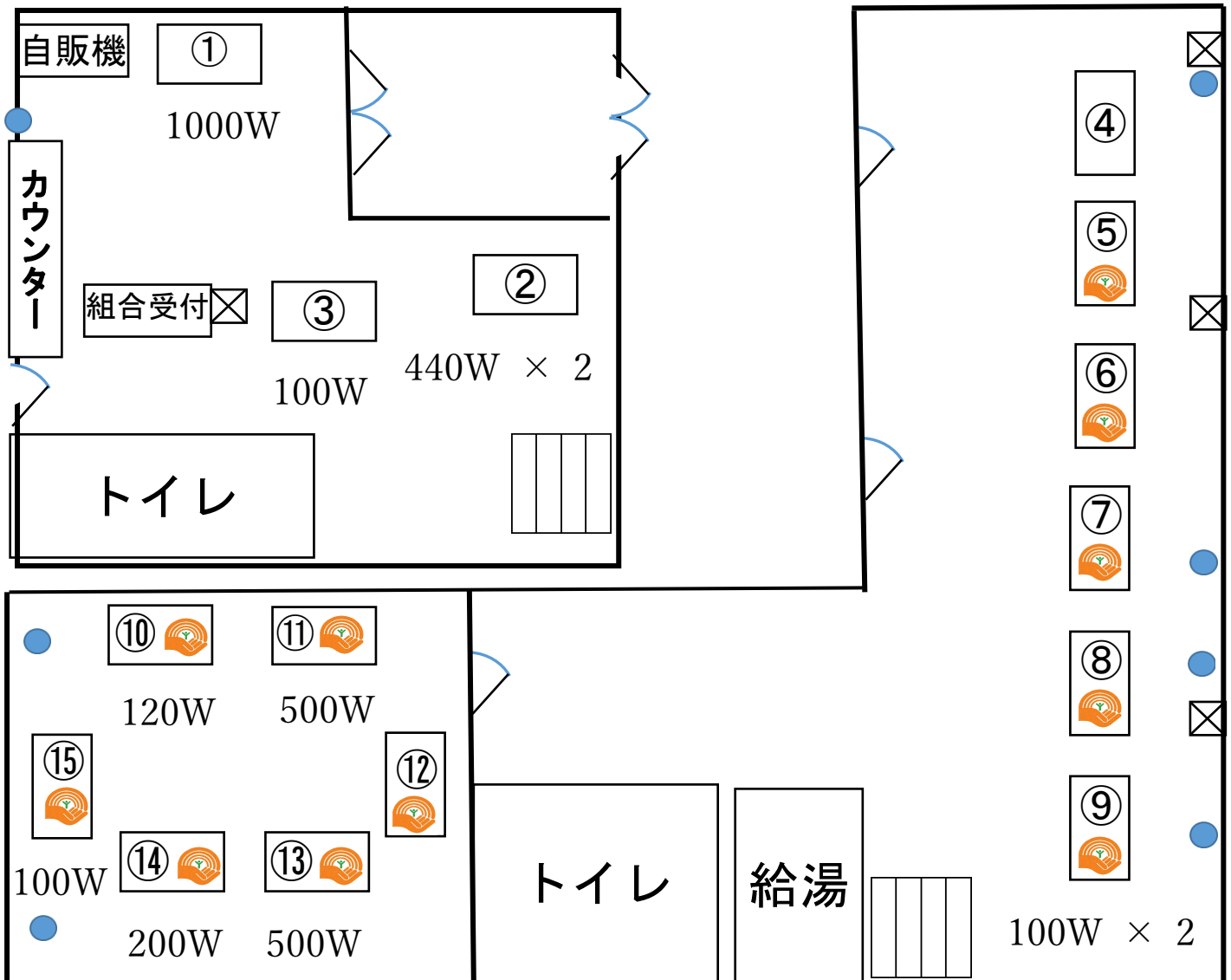


協同組合賛助会員



コンセント

2 F





第40回 神奈川県柔道整復学術大会

(順不同)

株式会社日本メディックス	☎	04-7193-2237
東京医研株式会社	☎	042-378-6630
ミナト医科学株式会社	☎	06-6303-7161
株式会社ハヤシ・ニット ビビエルボ事業部	☎	03-3449-5661
株式会社ジーオーエヌ	☎	03-5776-3096
新横浜グレイスホテル	☎	045-474-5111
株式会社HELIO JAPAN	☎	06-6266-1801
日本メディカルアンチエイジング協会	☎	03-5439-5423
イワタニ首都圏株式会社	☎	0120-5-87106
株式会社エフ・エス・シー	☎	045-664-3131
株式会社OA・システムシャープ	☎	03-5343-2531
株式会社TOSCOM	☎	0120-900-200
株式会社エス・エス・ビー	☎	029-839-0346
日本システムクリエイト株式会社	☎	03-3736-1151
ミズノ株式会社	☎	0120-320-799
株式会社カナケン	☎	045-901-5471
有限会社メープル	☎	045-742-9393
有限会社吉岡印刷	☎	045-741-3452
花田学園 東京有明医療大学・日本柔道整復専門学校	☎	03-3461-4787
呉竹学園 呉竹鍼灸柔整専門学校	☎	045-471-3731
日本体育大学	☎	045-963-7956